

アイヌ施策推進地域計画 事後目標評価報告書

| | | |
|-------|----------------|-------|
| 実施主体名 | 計画の名称 | 目標年度 |
| 白老町 | 白老町アイヌ施策推進地域計画 | 令和5年度 |

1. 目標の達成状況

| アイヌ施策推進地域計画における目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------------|-------------|-------------|---------------|-----------------------|
| ①イオル事務所「チキサニ」利用者数 | 5,000 人/年間 | 2,004 人/年間 | 40.08 % | |
| ②アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数 | 5,880 食/年間 | 2,380 食/年間 | 40.48 % | 3回実施 |
| ③アイヌ文化プロモーションイベント来場者数 | 2,000 人/年間 | 15,000 人/年間 | 750.00 % | 福岡、仙台、東京 |
| ④アイヌラッピングバス利用者数 | 41,100 人/年間 | 45,226 人/年間 | 110.04 % | 町内循環・デマンド・交流促進バス 利用者数 |
| ⑤町内で安心して医療を受けられることができると感じている割合 | 16.0 % | 8.4 % | 52.50 % | まちづくり町民意識調査結果 |
| ⑥生活館利用者数 | 28,500 人/年間 | 20,479 人/年間 | 71.86 % | |

| アイヌ施策推進地域計画における目標 | 達成状況 | 備考 |
|-------------------------------|---|----|
| ①イオル事務所「チキサニ」利用者数 | イオル事務所「チキサニ」において開催しているアイヌ文化に関する各種体験事業については、安全対策を考慮した募集定員を設定していることなどもあり、当初設定した目標値には至らなかった。 | |
| ②アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数 | 当初設定した数値目標は、アイヌ伝統料理を取り入れた「ふるさと給食の日」を年4回実施する予定としていたが、学校給食全体の献立スケジュール等の関係もあり、現在は年3回の提供としている。 また、少子化に伴う児童生徒数の減少のほか、2月実施時には学級閉鎖となったクラスもあったことから目標の達成には至らなかった。 | |
| ③アイヌ文化プロモーションイベント来場者数 | 令和5年度においても、東京や福岡など道外の大都市3カ所においてプロモーション | |

| | | |
|--------------------------------|---|--|
| | ンイベントを開催できたことから、目標値を大きく上回った。 | |
| ④アイヌラッピングバス利用者数 | ウポポイによる特別展や各種イベントの開催、町内の観光施設や商業店舗等による来訪者の増加に向けた取り組みを行ったこと、また、特に交流促進バス「ぐるぼん」が多くの方に認知されてきていることもあり、乗車人数が前年より大幅に増加したことなどから目標値を上回った。 | |
| ⑤町内で安心して医療を受けられることができると感じている割合 | 町民の皆さまが安心して医療を受けることができるよう医療現場において努力はしているものの、固定医の確保や専門科の設置など、町民の皆さまが求めているニーズに応えきれていない状況等もあり、目標値の達成には至らなかった。 | |
| ⑥生活館利用者数 | 令和5年度については、町内に8館ある生活館のうち、最も老朽化が著しかった白老生活館の改築工事を行ったことにより1年間使用できなかったことなどから、目標値の達成には至らなかった。 | |

令和5年度についても、多くの事業は目標値の達成には至らない結果となった。
現在の目標値は令和元年度に設定したものであるが、近年の急速な人口減少の影響やニーズの多様化などにより、目標値の達成には至っていない状況もあることから、令和6年度以降の地域計画における目標値については、今後の人口減少等の動向も踏まえた目標値を設定するものとする。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

(文化振興事業：伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| <p>【空間活用等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ポロト地区、フシコベツ川、ポロト自然休養林地区において、樹木やアイヌの有用植物周辺の雑草の除去、鹿食害対策、生育観察及び定期巡視など、伝統的文化活動等の体験交流事業を行う際の自然素材の維持管理を行った。 ■ 白老地区におけるイオル再生事業の普及啓発の場である「しらおいイオル事務所 チキサニ」の管理運営のほか、一般の方に対し、アイヌの歴史や文化に関する学習の機会や情報提供する場として、各種体験事業を実施し多くの方に来訪いただいた。 <p>【自然素材育成事業】</p> | 白老町 |

| | |
|--|--|
| <p>■ 森野地区、ヨコスト地区において、アイヌの有用植物、穀物及び体験用野菜の試験栽培を行った。体験用野菜として栽培したジャガイモ、カボチャ等は順調に生育し収穫体験において活用した。</p> <p>【体験交流事業】</p> <p>■ 地域の関係団体と連携を図り、チキサニや植栽エリアを活用し、四季折々のアイヌ文化に関する各種体験事業を実施した。</p> <p>《令和5年度の実績》 全26事業、参加者760名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 海のイオル 地引網体験2回 263名、サケの食文化体験19名 ➢ 山のイオル 野外学習14名、森のアイヌ文化体験17名、穀物採取体験20名、冬の遊び9名 ➢ 川のイオル マレク・サケ解体等2回 82名 ➢ アイヌ文化体験・体感交流事業 教職員対象 延べ55名 ➢ ミニ体験交流事業 ペネイモ作り、チタラペ編み体験等 計13回 延べ185名 ➢ アイヌ文化の普及啓発出前講座 出前講座 計5回 96名 | |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>アイヌ文化の普及啓発活動やイオル再生事業に必要な自然素材の維持管理が適正に行われたとともに、アイヌ文化の理解促進に寄与する様々な体験事業を実施したことにより、アイヌ文化への関心や普及啓発に寄与した。</p> | |

(文化振興事業：アイヌ文化保存・伝承活動推進事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|------------|
| <p>白老地域のアイヌ文化を確実に次代に継承することを目的に、育成プログラムに基づいた伝統手工芸の担い手育成のための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 刺しゅう講座、木彫講座、アイヌ文化伝承者や自然ガイド育成のための文化や歴史に関する講座・視察研修。 ■ 町内で活動するアイヌ文化工芸品制作者やサークル団体と連携し、アイヌ文化工芸品PR展示会を開催。 ■ 白老歴史伝承事業として、町内のエカシ・フチの3名からポロトコタンの歴史や旧アイヌ民族博物館時代の聴き取り調査を実施。 ■ 白老生活館の改築に伴い、アイヌ文化の儀礼伝承活動として、チセコテノミ（地鎮祭）を開催。完成後には、チセノミ（新築祝い）・ハルランナ（供物撒き）を開催。 ■ アイヌ文化の復興と理解促進、アイヌ語継承人材の育成を目的に、アイヌ語研究のための教室を開催。ローマ字筆録からの発音読み起こし、アイヌ語の日本語翻訳、研究活動及び編集作業を行った。成果品（書籍）は、北海道博物館、札幌市アイヌ文化交流センター、北海道 | <p>白老町</p> |

| | |
|--|--|
| 立アイヌ総合センターなどへ配布。 | |
| 事業の効果 | |
| <p>■ 白老地域のアイヌ文化を確実に次代に継承することを目的に、育成プログラムに基づいた伝統手工芸の担い手育成のため各種講座を行ったことで、アイヌ文化や歴史を参加者自ら伝承していく意識を深めることができた。</p> <p>また、町内で活動するアイヌ文化工芸品制作者やサークル団体と連携し、アイヌ文化工芸品PR展示会を開催したことで、制作過程での情報交換や、より高度な技術を磨く意欲の向上に繋がり、アイヌ文化普及啓発活動のさらなる推進と展示会場である中心市街地（大町商店街）への回遊性向上効果も得られた。</p> <p>■ 町内のエカシ・フチからの聴き取り調査を実施したことで、白老地域の歴史について古老から学ぶことができたとともに、後世へ語り継ぐための取り組み強化にも繋がった。</p> <p>■ 白老生活館の改築に伴い、アイヌ文化の儀礼伝承活動として、チセコテノミ（地鎮祭）や完成後にチセノミ（新築祝い）・ハルランナ（供物撒き）を行ったことで、町民等へのアイヌ文化の啓発と伝承者の育成にも寄与した。</p> <p>■ アイヌ語研究のための教室を開催したことで、失われつつあるアイヌ語を保存し、地域の方々为主体となってアイヌ文化の伝承活動を推進していく意識を高めることができた。</p> <p>また、成果品（書籍）を北海道博物館、札幌市アイヌ文化交流センター、北海道立アイヌ総合センターなどへ配布したことで、アイヌ語研究に携わる他団体と共有し、さらなるアイヌ文化普及啓発活動の推進に繋げることができた。</p> | |

（文化振興事業：慰霊施設周辺環境整備事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| ウポポイの中核施設の1つである慰霊施設周辺（白老町管理地）において、雑木が多数繁茂してきたことにより施設の管理上支障が生じていたことから、支障箇所の樹木の除去を行い、慰霊施設周辺環境の改善を図った。 | 白老町 |
| 事業の効果 | |
| ウポポイの中核施設である慰霊施設は、墓所・慰霊行事施設・モニュメントにより構成されており、そのうち、慰霊施設東側に配置されるモニュメントについては、先人の慰霊のためウポポイを訪れる各地のアイヌの方々への心の拠り所となっており、本事業により慰霊施設の周辺環境を改善したことで、将来にわたり尊厳ある慰霊の実現が可能となった。 | |

（文化振興事業：アイヌ伝統等普及啓発事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| <p>【①学校給食】</p> <p>■ 町内小中学校の給食におけるアイヌ文化に関する食材を活用したメニュー（ふるさと給食）の提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ アイヌ伝統料理（オハウ等）を学期毎に1回、年3回程度提供 ➢ アイヌ文化に関する食材や食文化等の説明用チラシを学校、各家庭へ配布 ➢ アイヌ文化に関する食材カレンダーの毎月発行 | 白老町 |

| | |
|--|--|
| <p>【②ふるさと学習】</p> <p>■ 町内小中学校のふるさと学習におけるアイヌの伝統や文化の理解促進のための体験学習（古式舞踊・子どもの遊び・伝統食の試食・アイヌ文様切り絵制作・アイヌ文様彫刻・カムイについての講話）を実施した。</p> | |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>【①学校給食】</p> <p>■ 町内小中学校の給食において、アイヌ文化に関する食材や調理法を活用したメニューの提供とともに、食材カレンダー、説明用チラシ、町ホームページにおけるアイヌ文化に関する食材及び食に関するコラム、献立メニューの紹介を掲載したことで、アイヌ民族の食文化に関する理解促進を図ることができた。</p> <p>【②ふるさと学習】</p> <p>■ 町内小中学校のふるさと学習において、児童生徒の年齢に応じ、古式舞踊・子どもの遊び・伝統食の試食・アイヌ文様切り絵制作・アイヌ文様彫刻等の多様な体験学習を実施したことにより、楽しみながら地域のアイヌ文化を理解する機会を創出し、義務教育期における児童生徒への地域のアイヌ文化の理解を一層深めることができたとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育むことができた。</p> | |

（文化振興事業：アイヌ文化理解促進事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|------------|
| <p>■ ウポポイを身近な施設として地元住民に親しみを感じてもらうため、ウポポイへの入場が有料となる高校生以上の白老町民を対象に、ウポポイ無料入場（1回利用券・年間パスポート）引換券を発行。</p> <p>➢ 1回利用券を希望する場合は、引換券をウポポイへ直接持参することで入場可能とした。</p> <p>➢ 年間パスポート発行希望の場合は、白老町役場内に特設窓口を設置し、申請受付後、申請者リストをウポポイへ提供し、ウポポイにおいて作成した年間パスポートを町から申請者へ発送した。</p> | <p>白老町</p> |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>■ 対象となる白老町民 15,699 人のうち、3割を超える 5,315 人に年間パスポートを発行したとともに、1回利用券については 223 人の利用があり、幅広い世代の町民にウポポイへ足を運んでいただく機会を創出したことで、町民のアイヌ文化への理解を深めることができた。</p> <p>また、ウポポイへの町民の理解が深まり、町民一人ひとりが「アンバサダー」となり得るための機運が醸成された。</p> | |

（文化振興事業：アイヌ文化教育推進事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|------------|
| <p>■ 町内の高等学校（2校）に在籍し、町外から通学する生徒及び年間パスポート未取得の生徒に対し、各校における総合的学習を行う際に生じる入場料（1回分の団体料金）を町で負担した。</p> | <p>白老町</p> |

| |
|--|
| 事業の効果 |
| <p>■ ウポポイをフィールドとした総合的学習を通して、アイヌ文化や歴史、精神文化や世界観に幅広く触れることができ、事前学習等で培ったアイヌ文化に関する知識と理解をさらに深めることができた。</p> <p>《町がウポポイの入場料を負担した生徒数》令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 北海道白老東高等学校 107名 (1～3年生) ➢ 北海道栄高等学校 143名 (3年生) 計 250名 |

(地域・産業振興事業：アイヌ文化関連の観光プロモーション・商品開発事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|--------|
| <p>■ ウポポイ及び白老地域のアイヌ文化と地域資源のPRを目的としたノベルティの製作及び道外の都市部における観光プロモーション活動を行った。</p> <p>(開催地：東京都、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市 ほか)</p> <p>■ 町外からの来訪者が迷うことなくウポポイへ行けるよう、町内の主要箇所の電柱(84本)に案内誘導看板を継続して掲示。</p> <p>■ 白老地域のアイヌ文化の価値をさらに高めるための新商品開発に向けた調査研究、次期商品開発や知的財産保護制度確立への検討を行った。</p> | 白老町 |
| 事業の効果 | |
| <p>■ 各種パンフレットとともに配布する普及啓発用のノベルティを町内のアイヌ関連団体と連携のうえ準備し、PRイベント等において来場者に配布したことで、ウポポイ、地域のアイヌ文化、白老町の観光に加え、ウポポイPRキャラクター「トゥレップン」の周知や普及啓発にも寄与した。</p> <p>■ 令和5年度に実施した道外3都市(東京、福岡、仙台)でのPRイベントにおいて、延べ15,000人の来場者に対して、ウポポイ、地域のアイヌ文化及び白老町の魅力を発信できた。</p> <p>また、来場者との対話の中でも「ウポポイへ行ったことがある」、「ぜひ、ウポポイへ行きたい」などの声が増えていることを実感することができた。</p> <p>■ 町内主要箇所の電柱(84本)にウポポイへの案内誘導看板を継続掲示したことで、町内の機運醸成と来訪者への利便性向上に寄与することができた。</p> <p>■ これまで、アイヌ政策推進交付金を活用しアイヌ関連団体において商品開発事業を行ったことで、新商品を検討・開発していくための流れや検討体制の構築・商品化後の販売展開など、これまでの実績において蓄積したノウハウを活かし、今後における新商品開発事業を推進するための基盤を構築することができた。</p> | |

(地域・産業振興事業：食による来訪者おもてなし体制整備事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|--------|
| <p>■ ウポポイ及び中心市街地周辺の賑わい創出や来訪者の回遊性向上のため、ウポポイと白老駅との動線上に立地するポロトミンタラ(白老駅北観光インフォメーションセンター)を中心とした駅北観光商業ゾ</p> | 白老町 |

| | |
|---|--|
| <p>ーンを会場に、おもてなしイベントを開催（7月から9月にかけて4日間程度）し、本町のアイヌ文化や豊かな食資源、特産品、観光資源など、多様な魅力を幅広く発信可能となる体制を構築した。</p> | |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>■ 令和5年度については、おもてなしイベントを7月から8月にかけて4日間開催し6,366人の来訪者で賑わった。</p> <p>このことにより、ウポポイとの連携のほか、地域のアイヌ文化、豊かな食資源・特産品・観光資源など、本町の有する多様な魅力を発信し、町内外からの多くの来訪者に体感いただくことができたとともに中心市街地への賑わい創出にも寄与した。</p> | |

(地域・産業振興事業：来訪者受入のための医療体制整備事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|------------|
| <p>■ ウポポイ来訪中に急病人等が発生した際に、迅速な医療サービスを提供可能にするため、救急担当医や看護師等の確保や海外からの来訪者に対する多言語対応などの受入体制整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 救急担当医等の確保 ➢ 外国人患者及び在留外国人患者の受入れ強化 (多言語翻訳システムタブレットの導入) ➢ 院内環境の利便性向上に向けた整備（令和元年度） (案内サイン多言語表示、案内文書の多言語翻訳、医療費のキャッシュレス化、WiFi 整備) | <p>白老町</p> |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>■ ウポポイ来訪中に体調急変等が起きた場合の対処として、町内唯一の救急告示病院である本院での患者対応に万全を期するため、救急担当医等の確保、外国人に対する対応の強化を行ったことで、ウポポイ来訪者の不測の事態に備え万全の体制を構築することができた。</p> | |

(地域・産業振興事業：アイヌ文様ラッピングバス運行事業)

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|---|------------|
| <p>■ 地域住民の交流の場、ウポポイ及びアイヌ関連施設等を拠点に、アイヌの方々をはじめとした地域住民や来訪者の交通の利便性を確保するためにアイヌ文様ラッピングバスの運行のほか、さらなる利便性向上のための運行改善に向けたダイヤ・ルートの改正検討調査などを行った。</p> <p>《運行車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域循環バス 元気号（マイクロバス） ➢ デマンドバス カムイ号（ハイエース） ➢ 交流促進バス ぐるぽん（ポンチョ） | <p>白老町</p> |
| <p>事業の効果</p> | |
| <p>■ 令和5年度についても、アイヌの方々をはじめとする地域住民と来訪者等の交通利便性を確保することを目的に、交流促進バス（ぐるぽん）、地域循環バス（元気号）の運行や10人乗り</p> | |

車両（カムイ号）による予約に応じたドア・ツー・ドアで運行するデマンドバスの運行を行ったほか、利用者の利便性向上のためダイヤ・ルート改正等の取り組みを行ったことで、アイヌの方々をはじめとして、ウポポイや本町への来訪者の利便性の向上を図ることができた。

（地域・産業振興事業：公共交通利便性向上のための受入体制整備事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| <p>■ ウポポイの開業に伴う来訪者をはじめとした JR 利用者の増加を見据え、乗換こ線橋とウポポイへの動線である白老駅自由通路を直接行き来することができる臨時改札口を設置した。</p> <p>➤ 臨時改札口の管理運営業務 （切符の集札・定期券の確認、利用人数把握、日報作成、パンフレット等による観光案内等）</p> | 白老町 |
| 事業の効果 | |
| <p>■ 臨時改札口の設置により、ウポポイへの来訪者はもとより、アイヌの方々をはじめとする町民の移動の利便性向上に寄与した。</p> <p>また、来訪者に対し、必要に応じてスタッフが観光案内を行うなど、効果的な観光PRを行うことができた。</p> <p>《参考》令和5年度の利用実績 32,599人</p> | |

（コミュニティ活動支援事業：生活館改修・交流事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| <p>■ アイヌ関連団体の活動拠点となっている町内の生活館のうち、建設から43年以上が経過し老朽化が著しかった白老生活館を伝統儀式・文化活動など、多様なアイヌ文化の伝承活動が実施できるよう、多機能型生活館として改築工事（建築主体、電気設備、機械設備、外構）を行ったとともに、本生活館の運営に必要な施設用備品を購入した。</p> <p>➤ 白老生活館の建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事、施設用備品購入、改築実施設計業務委託、旧白老生活館解体工事等</p> <p>➤ そのほか、経年劣化により腐食していた既存生活館3館（社台、川沿、虎杖浜）の電気引込設備改修工事</p> | 白老町 |
| 事業の効果 | |
| <p>■ 白老生活館を多機能型生活館として改築したことにより、アイヌ文化の保存伝承活動を行っている様々なアイヌ関連団体やアイヌ工芸品制作サークルの活動に大いに活用されているほか、アイヌの方々をはじめとする町民の様々なコミュニティ活動の場としても広く利用されている。</p> | |

（コミュニティ活動支援事業：アイヌ文化等を担う人材育成のための子どもの学習支援事業）

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| <p>■ 町内小中学校（6校）に学習支援員を各1名配置し、習熟度別授業の</p> | 白老町 |

| | |
|--|--|
| 補助、複式学級授業の補助、放課後及び長期休暇中補習授業などを行った。 | |
| 事業の効果 | |
| <p>■ 本町の教育指針である「白老町スタンダード」に基づいた【学習環境の充実（学習の確実な定着）】による学力向上、また、各校が抱える学習課題克服による児童生徒の学力向上のために学習支援員を配置し、苦手教科の重点的対策や主要教科及び主要教科以外の教科、生活支援を含めた総合的対策による学習の確実な定着を目指し、習熟度別授業や複式学級授業のほか、放課後の補習授業等、各校の実情に応じた形態の学習支援を行ったことで、児童生徒の習熟度向上による基礎学力の定着化が図られたとともに、次年度以降の学力向上に向けた体制が維持できた。</p> | |

3. 今後の方針等

| |
|--|
| <p>本町において、第二期目となる令和6年度以降の白老町アイヌ施策推進地域計画では、さらに町内のアイヌ関連団体やその他の関係機関との連携を密にし、ウポポイへの誘客活動の強化はもとより、アイヌ文化の普及啓発、地域のアイヌ文化の保存伝承の推進とともに次代を担っていく人材の育成や組織体制の強化を図るための取り組みを推進していく。</p> <p>そのほか、地域内及び地域間の交流並びに国際交流の促進を目的とした各事業を積極的かつ継続的に推進する。</p> |
|--|